

2024.4.15

第 25 回 SaloneSatellite /サローネサテリテ 1998 年よりデザインを繋ぐ

ロー 市の見本市会場、フィエラミラノの 5-7 ホールで開催されるサローネサテリテは、「若いデザイン」のための最も権威ある展示であり、世界で活躍するサテリテ出身デザイナー、文化、プロジェクトとの 25 年に渡るつながりと関係を祝います。

遡ること 1998 年。ミラノ市内の見本市会場、フィエラミラノの新しいパビリオン「ポルテッロ」に拡張されたミラノサローネ国際家具見本市(以下、ミラノサローネ)は、会場の全エリアを占有し、追加されたパビリオン9は一般に直接開放されることになりました。様々な併催展示イベントを開催するための新しいパビリオンにサローネサテリテが誕生したのです。それは、見本市の併催イベントとして考案されたサローネサテリテの新たな出発点となりました。世界中から集まった 65 人の若手デザイナーと国際的なデザイン学校のグループを受け入れるために設計された新しいスペースです。

第一回のカタログにはこう書かれています：

「私たちはこのサローネサテリテを軌道に乗せました。アヴァンギャルドで卓越したデザインたちは、出会いの場を切望していました。そして、新進気鋭のデザインを伝えるのに、ミラノのミラノサローネほどふさわしい場所が他にあるでしょうか？」

サローネサテリテ 25 周年を祝う今年、32 カ国から約 600 人が参加し、13 カ国から国際的なデザイン学校・大学 22 校が参加します。サウジアラビアからはプリンス・スルタン大学、セルビアからはベオグラード・ビジネス・アンド・アーツ・アカデミー・オブ・アプライド・スタディーズ、アメリカからはマイケル・グレイブス・カレッジ、中国からは西安交通リバプール大学が初参加します。更には、コメタ・コモ/ Cometa Como (イタリア初の職人起業家デザイン高校)とフランスの CMQ (Campus des métiers et qualification=職業と資格のキャンパス)の前例のないコラボレーション・プロジェクトが、サローネの招待によって実現し、ロー・フィエラミラノのホール 5-7、サローネサテリテ 2024 で発表されます。

サローネサテリテの創設者兼キュレーターであるマルヴァ・グリフィン・ウィルシャーのコメント：

「25 年なんて信じられない！当時、ミラノサローネ国際家具見本市の運営会社、Cosmit (コズミット) の CEO であったマンリオ・アルメリーニと、若手デザイナーについて語り合った後、見本市会場内で彼らに特化したイベントを開催する任務を私に託したのが昨日のこのことです。」

それ以来、ミラノサローネに集う一流企業の起業家たちとの親密な関係は、実りあるコラボレーションを実現し、数多くの新進デザイナーをプロとしての道、そして国際的な認知へと導いてきました。

サローネサテリテは、2024 年の若き参加者に、サローネサテリテから“飛び立った”出身デザイナーたちと接する機会を提供するメンタリングの機会を設けました。可能な限り、国籍や言語的な親和性を考慮したマッチングが行われました。電話、ビデオ通話、電子メール、または直接会うなどして、先輩デザイナーは新進気鋭のデザイナーたちに、アドバイス、感情、アプローチ、デザイン手法を伝え、互いに共有し、自由かつ自律的に交流しました。

ミラノ・トリエンナーレで開催される展覧会は、このつながりと発見の前哨基地の歴史をたどるものです。マルヴァ・グリフィン・ウィルシャーとともに、すでに 10 周年(「Avverati. A Dream Come True」展、フィエラミラノ、ロー、2007 年)と 20 周年(「SaloneSatellite 20 Years of New Creativity」展、Fabbrica del Vapore、2017 年)を手がけた 2 人のプロフェッショナルがキュレーションを担当しま

す。ベッペ・フィネッシとリカルド・ベッロ・ディアスは、自身のスタジオで第1回から展覧会のレイアウトデザインも手がけています。展覧会のグラフィックデザインは studio òbelo/スタジオ・オーベロ(クロード・マルゾットとマイア・サンボネ)が担当。展覧会は4月16日に開幕し、ミラノサローネ閉幕1週間後の28日まで開催されます。

【第13回サローネサテリテ・アワード】

今年で13回目を迎える SaloneSatellite Award は、例年通り、最もふさわしいデザイナーを表彰し奨励します。ニューヨーク近代美術館(MoMA)建築・デザイン部門のシニア・キュレーター、パオラ・アントネッリ氏を審査委員長とする業界のエキスパートからなる審査委員会が、パビリオン5~7内に展示される2024年出展者のプロジェクトを評価します。受賞者の名前は、4月17日(水)午後の授賞式で発表されます。

【アワードトロフィー誕生】

サローネサテリテが2010年に創設したアワードは、25周年を迎える今年、新たな試みを導入します。参加の証として、また授賞式の記念品として、通常の賞状に加えて**トロフィーが授与**されます。この金属彫刻のコンセプトは、サローネサテリテの過去の参加者でもある**アーティストのダニエーレ・パッツ**によるもの。彼は、1945年にブルーノ・ムナリがデザインした「**シンガー / 短い訪問者のための椅子**」からインスピレーションを得て、若手デザイナーを称える作品を制作することにしました。彼の解釈では、この有名な椅子/彫刻はミラノサローネのイメージを想起させる赤で彩られ、イタリアと世界のデザインの横断的な参照点である巨匠の教えを伝えることを意図しています。マエストロは、理論と実践の間で「別のやり方を見つけよう」と提案しました。デザインと私たちを取り囲む環境に対する視点を変えるような誘いかけが、サローネサテリテで毎年異なる展示を行うこだわりと創造性を支えているようです。

【フランクブロス(FrankBros) ネット販売開始】

また、今年の新企画として、初の**オンライン・デザインコンセプト・ショップ「フランクブロス(FrankBros)」**とのコラボレーションにより、昨年のサローネサテリテ出展作品から厳選された作品を出品します。このオンライン・デザイン・プラットフォームで、サローネサテリテ2024に参加した35歳以下の優秀なデザイナーのクリエイティビティを国際的かつ永続的に認知させ、彼らの作品やオブジェを迅速に商業ベースに乗せます。

【卓球ゲームマッチ】

アドリアーノ・デザインがデザインした Effetto 71 テーブルで、**テッケル(Techell) 社**とのコラボレーションにより、セットアップが一新され、プレイエリアが設けられ、かつてのサローネサテリテ・デザイナーと新しいデザイナーが**卓球で対戦**します。果たして勝敗はどちらに？

【第13回 サローネサテリテ・アワード授賞式】

4月17日(水) 15:00

Hall 7 アリーナ

【ラウンドテーブル】

「サローネサテリテ出身デザイナーとのディスカッション」

4月18日(木) 15:00

Hall 7 アリーナ

登壇者

ロドルフォ・アグレラ/ Rodolfo Agrella (ベネズエラ・アメリカ)

ペドロ・フランコ/ Pedro Franco (ブラジル)

セバスチャン・ヘルクナー/ Sebastian Herkner (ドイツ)

パトリック・ジュアン/ Patrick Jouin (フランス)



フランチェスカ・ランザヴェッキア / Francesca Lanzavecchia (イタリア)

Zhang Lei / Pinwu (中国)

フランчесコ・リブリッツィ / Francesco Librizzi (イタリア)

ダニエル・ライバック / Daniel Rybakken (ノルウェー)

田村奈穂 (アメリカ・日本)

モデレーター

カトリーナ・バロウズ / Katrina Burroughs (タイムズ紙、サンデー・タイムズ紙インテリア・エディター)

【TALK/ トークイベント】

「語ることと売ること」

4月19日(金) 15:00

Hall 7 アリーナ

ナシル・カッサマリ / Nasir Kassamali (元ルミネア / Luminaire 共同創業者)、トニー・チェンバー / Tony Chambers (デザイン・クリエイティブ・ディレクター) が、デザインをプレゼンテーションし、伝え、売るための最善の方法について語ります。

【サローネサテリテ卓球ゲームマッチ】

「2023年デザイナー vs 2024年デザイナー」

4月19日(金) 16:30

Hall 7 アリーナ

「サローネサテリテ卓球ゲーム」

一般対象(予約制)

4月20日(土)

Hall 7 アリーナ

本件についてのお問い合わせ先: 山本幸 yuki@milanosalone.com

International press info: Marva Griffin-Patrizia Malfatti press@salonemilano.it